

## 第 225 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 15 期, 第 3 回)

日時：2017 年 9 月 15 日 (日) 10:00～13:00

場所：山形大学 米沢キャンパス 4-212

出席者 (敬称略)：林 (会長), 藤吉 (副会長), 櫻井 (会誌), 本多 (事業・研究推進), 堀尾 (財務・会計), 井田 (規程・選奨), 橋山 (大会デザイン), 中島 (特任・電子化データベース), 前田 (特任・資料アーカイブズ), 金久保 (財務・会計監事), 堀口 (事業監事), 広兼 (総務)

欠席者 (敬称略)：乾口 (副会長), 能島 (広報), 工藤 (出版・他学会連携)

### 【審 議】

1. 前回議事録の確認 (資料 225-0 : 広兼, ML 審議 8/14 承認)
  - ・ 前回議事録 (資料 225-0) について確認した.
  - ・ 当初の議事録案からの修正点 (学会賞の審査, 事業補助金の期中申請, FSS2017 の講演申込・事前参加申込者数) について説明がなされ承認された.
  - ・ HP で掲載することとした.
  
2. 他学会の研究方針情報について (資料 225-2 : 林)
  - ・ 次回, 審議することとした.
  
3. 第 15 期理事会・平成 29 年度ロードマップについて (資料 225-3 : 林)
  - ・ 次回, 審議することとした.
  
4. Zadeh 先生の訃報への対応について (資料 225-8 : 林)
  - ・ 訃報への対応 (資料 225-8) について説明がなされた.
  - ・ 弔電メールの送信について
    - Zadeh 先生の近親者の先生方については, 弔電メールをすでにお送りした.
  - ・ 偲ぶ会について議論した.
    - 来年の FSS では遅く, 11 月, 12 月, 3 月あたりが考えられる.
    - バイオメディカル・ファジィ・システム学会では, 大阪で 11 月 25 日か 26 日に偲ぶ催し (年次大会の中で) を検討している.
    - 前田理事, 林理事長を中心に, シニア世代研究部会のメンバーに協力を得ながら, バイオメディカル・ファジィ・システム学会との共同開催も視野に入れて, 偲ぶ会の実施について検討することとした.
  - ・ 学会誌の特集号について議論した.
    - Zadeh 先生の追悼記事の執筆を依頼する方向で検討する.
    - Zadeh 先生の略歴も掲載する方向で検討する.
    - 写真掲載については家族の方に許可を得る必要があることを確認した.

- ・次年度の FSS での企画については、大会デザイン担当理事が中心に検討することとした。
- ・別途、写真集や座談会の記事のとりまとめなども検討していくこととした。

#### 5. メール審議について（資料 225-4：林）

- ・メール審議の方法（資料 225-8）について説明がなされた。

#### 6. その他

- ・理事会での予算計画の承認が早急に必要である。この点について、財務・会計担当理事が早急にリストを作成し、メール審議することとした。

### 【報 告】

#### 1. 事業補助金の期中申請について（資料 225-5：本多，ML 審議 8/25 承認）

- ・事業補助金の期中申請（資料 225-5）について説明がなされた。
- ・メール審議で承認されたとおり、申請者をあいまいなゲーム研究会として申請したことが報告された。

#### 2. 第 1 回事業委員会の開催報告（資料 225-1：本多）

- ・第 1 回事業委員会議事録（資料 225-1）について説明がなされた。
- ・事業委員会の平成 29 年度の主な活動（IFSA-SCIS2017 Summer School の企画・運営，△NGLE の活性化・若手研究者の支援，若手研究者の支援の一環としての FSS・チュートリアル企画・運営，ファジィ学問塾の刷新に向けた検討，支部・研究部会からの各種申請への対応，事業委員会・拡大事業委員会の開催・運営）について，業務分担が確定したことが報告された。
- ・ファジィ学問塾については，これまでの仕組みでは負担や集客に限界があるため，FSS との共催やネット開催なども視野に検討していくことが報告された。

#### 3. 第 1 回資料アーカイブズ委員会の概要報告（資料 225-9-1,2,3：前田）

- ・資料アーカイブズ委員会で取り扱う対象文献（資料 225-9-1）について，学会誌，FSS 予稿集，SCIS&ISIS 予稿集，その他予稿集（IIZUKA，IFSA，FAN，AFSS など），支部講演会資料，研究会・WS 資料，講習会資料，絶版図書などが考えられることが報告された。
- ・資料の重要性の判断は委員会主導で行い，電子化後は原則廃棄することを提供者に伝えて了承していただく方針であることが報告された。
- ・今年度は，学会誌と FSS 予稿集の電子化を優先的に進めていき，来年度以降，英文誌や SCIS&ISIS 予稿集など，すでに電子化しているものを除外して，所在も含めて確認しながら，順次，電子化を検討していく。
- ・SOFT 主催でないものは，あれば集めて電子化する方向で検討していく。
- ・電子化データは，セットにして販売していくことも含めて検討していく。

#### 4. FSS イベント（学生×企業特別懇親会）の報告（資料なし：堀口）

- ・ 4 社（デンソー、積水化学工業、堀場製作所、富士ソフト）がスポンサーとなり、学生と企業の交流イベントが開催されたことが報告された。
- ・ 25 名の学生（半数は M1，残り半数は M2 や学部生）が参加した。懇親会は、参加学生は 4 つのグループに分かれ、それぞれのグループに企業側の参加者が入れ替わりローテして、学生と企業の懇談を行っていく形式で進められた。
- ・ 学会ベースでコラボレーションを進めている企業は少なく、後日、理事会等でも説明していただく機会を設けて、最終的には総会等での合意を得ながら慎重に進めていくこととした。

#### 5. 2018 年学会誌の価格について（資 225-7：櫻井，ML 審議 9/4 承認）

- ・ 2018 年学会誌の価格（資 225-7）について説明がなされた。
- ・ メール審議で承認されたとおり、年間購読先に対して、昨年度と同じ金額での販売であると回答したことが報告された。

#### 6. 学会賞の表彰状について（資料 225-6：井田，ML 審議 8/30 承認）

- ・ メール審議で承認されたとおり、功績賞については少し文面を修正し、その他の賞については昨年度と同様の文面で賞状を作成して、受賞者に授与したことが報告された。
- ・ 奨励賞の授与について、受賞者が欠席した際、代理での受け取りはやめて、郵送することとした。

#### 7. SOFT-CR 宣伝の実施報告（資料 225-10：中島）

- ・ ビアセッションにおいて、SOFT-CR の宣伝を実施し、必要性等について議論した。
- ・ 学会とのアクティビティを示すために必要という肯定的な意見や、大学のリポジトリもうまく機能してない中で困難ではという否定的な意見など、様々な意見が出されたものの、全体的には多くの賛同が得られたことが報告された。
- ・ 提供者を増やすため、賞を設けるなど、インセンティブをつける方向で検討する。
- ・ SOFT-CR を会員に周知するため、SOFT-CR に関する記事・募集を学会誌の会告に掲載することとした。
- ・ SOFT-CR への募集をつのるためのパンフレットを作成して、配布できるよう準備することとした。

#### 8. その他

- ・ FSS2017 の 9 月 14 日の参加者が 271 名（事前申込 249 名）であることが報告された。
- ・ 30 周年（2019 年）の企画について、藤吉理事を中心に検討することとした。
- ・ ミニ四駆大会の開催方法（支援）については、次年度 FSS に向けて継続性を考慮して、大会デザイン担当理事を中心に検討することとした。

以上